



▲質問▼
つくばエクスプレスが本年八月二十四日で開業一周年を迎え、一年間の累計乗車人数は当初の予想より二割程度上回り、六千万人と発表された。筑波山観光も四百一万人とな



松本 茂男 議員

つくばエクスプレス開通と観光対策について

一般質問は市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを質問することです。各議員の一般質問の中から一つ取りあげて要旨を掲載いたします。



り、県内一の観光地となった。筑波山周辺の観光名所など巡る周遊バスも運行されるなど、今後、乗客人数は毎年十五パーセントずつ増加するものと予想され、筑波山及び周辺観光客も更に増加するものと思われる。霞ヶ浦、新治を中心とした本市の観光対策について伺う。

▲市長▼

本市は水郷筑波国定公園の玄関口に位置する事から、県及び関係市町村と連携を図りながら、霞ヶ浦と筑波山周辺の観光拠点を結ぶ霞ヶ浦自動車道、つくばりんりん道路、朝日トンネルの整備に伴う観光づくりなど、広域的な観光ネットワークの構築に向けて取り組んでまいりたい。なお、筑波山麓や霞ヶ浦をはじめ、「つくば」にない、土浦らしさの象徴である城下町としての歴史と伝統、小町の里やハス田の景観など、恵まれた自然等を生かした市全体並びに広域観光事業を展開し、観光客の誘致を図ってまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

二 教育問題について

歩行者の安全面からの道路整備について



内田 卓男 議員

▲質問▼

乙戸方面から県道館野・荒川沖停車場線が、荒川沖南支

所前で国道六号と交差する交差点の渋滞はひどい状態にある。この県道と並行して、昔は農道と推測できる土地と神社の土地と思われる土地が信号まで数十メートル存在している。これだけの土地が道路として整備できれば、歩道のついた上下三車線の立派な交差点に改良できると信じる。市当局は、県当局に粘り強く要望、交渉していただきたい。

▲建設部長▼

管理者である県土浦土木事務所に対し、交差点の改良等をお願いしているが、国道六号を挟んだ約九十メートルの区間には、天満神社用地を分断するように道路整備がなされた際に生じた残地状の土地が存在しており、その土地について道路用地であるか、

天満神社用地であるか調査中であるが、公園混雑地区として今日に至っているため調査が進展しないと伺っている。しかしながら、当該交差点は交通渋滞地区であり、地域市民からの整備実施の願いは承知しているので、今後とも県との調整を重ねながら、交差点改良が進展するよう要望してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

(下高津小学校通学路の整備について)



改良が待たれる荒川沖交差点

ランドセルの無償配布について



吉田千鶴子 議員

▲質問▼

ランドセルの無償配布は、昭和五十一年から施行しており、子育て支援の先駆けとも思っているが、昨年当初から、事業の存続を心配する市民の声が多数寄せられている。子育て支援であり、多くの市民が必要としている施策だからこそ、ランドセルの無償配布の事業の存続を求めるが、どのように考えるのか伺う。

▲市長▼

昨今の大変厳しい財政状況を踏まえて、すべての事務事業について総点検を実施している。このような見直し、点検等は、事業の成果並びに効果を検証するという観点から必ず行うべきと考えているので、このランドセル無償配布事業についても、こうした視点に立って事業の継続性等を検討していくこととしたものである。しかし現在でも保護者の皆様方から大きな期待を寄せられているという状況でもあるので、当面は本事業を継続していく方針である。

(掲載以外の質問事項)

二 「六十五歳までの継続雇用義務化」について